


# アメリカ・看護留学プログラム

アメリカで看護師資格取得を目指すプログラムです。アメリカの看護師資格は、州の資格です。働く州で看護師登録をする必要がありますが、日本の正看護師資格をお持ちの場合は、登録前に CGFNS (Commission on Graduates of Foreign Nursing Schools) の受験、こちらに合格した後に NCLEX-RN 受験が必要です (カリフォルニア州は CGFNS 受験不要・ニューヨーク州は CGFNS の審査のみ必要)。日本の資格をお持ちでない場合は、アメリカの大学やカレッジで看護課程を修了し NCLEX-RN 受験する方法が一般的です。

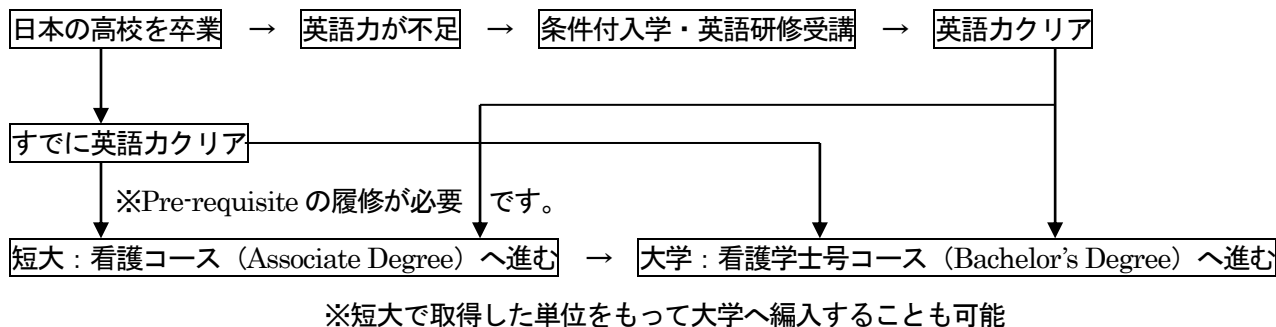
<p>アメリカの看護教育</p>	<p>大学、カレッジ、看護養成所でコースを提供しています。大学のコースは4年間で、看護学士号を取得することができます。カレッジ (短大) のコースは2年間ほどで、看護の準学士号の取得を目指します。看護教育のカリキュラム認定は、Accreditation Commission for Education in Nursing や National League for Nursing が行っており、留学先の選択として認定コースを提供している大学・カレッジを選ぶことが重要です。</p> <p><b>注目!!</b></p> <p>大学、カレッジとも看護コースは人気で、特にコミュニティカレッジの看護コースは、州内住民から優先入学であったり、待機リストが出ている、またカレッジによっては外国人の入学を認めていません。履修期間はカレッジに比べて長くなりますが、資格取得後の就労を考えると学位 (学士号) の取得が望ましいでしょう。</p>
<p>資格取得の流れ</p>	<p>①日本の看護師資格がある方</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 希望の州により多少異なりますが、CGFNS 受験→NCLEX-RN 受験のための資格審査→NCLEX-RN 受験資格を得た後、一定期間内に NCLEX-RN 受験</li> <li>2) アメリカの看護大学に編入し、看護学士号を取得→NCLEX-RN 受験</li> </ol> <p>※日本の看護教育で取得した単位を移行できた場合でも、2年半~3年の履修が必要になることが多い。</p> <p>②看護師資格がない方</p> <p>アメリカの大学やカレッジで看護教育を受け、NCLEX-RN を受験</p>
<p>資格取得・入学に必要な条件</p> 	<p>① 日本の看護師資格がある方で、アメリカの大学を経由しない場合</p> <p>CGFNS、NCLEX-RN の受験言語は英語です。全般的な英語力の強化と合わせて、試験対策が必要となります。また、受験資格審査では、日本で受けた看護教育の内容・時間数を見られることから、提出書類の準備には正確さなども必要です。看護教育歴において、不足科目や時間数不足を指摘されることがあり、その際は改めて履修が必要になる場合があります。</p> <p>② アメリカの大学で看護教育を履修することから始める場合</p> <p>大学やカレッジが求めている英語力の証明 (TOEFL や IELTS)、また高校時の成績を提出する必要があります。英語力に関しては、事前に英語研修を追加することができるため、それぞれの英語力に合わせてプラン案を作成しています。</p> <p>また、看護学専攻で履修登録するには、事前に入学に必要な Pre-requisite / 必修科目の履修が必要になる場合があります。</p> <p>■入学に必要な英語力 ※大学により異なります。詳細はお問合せください。</p> <p>大学への入学申請時、英語力証明スコアはテストセンターからの直送が必要になる場合があります。</p> <p style="text-align: center;">TOEFL iBT 79~80 / IELTS (Academic) 6.5</p> <p>■Pre-requisite (必修科目)</p> <p>数学や生物などが挙げられますが、どの科目をとらなければならないかについては、各大学、カレッジ、今までの教育歴により異なります。</p>
<p>カレッジサーチ</p>	<p>カレッジ・大学のサーチを行い、プラン案をお知らせしています。「アメリカで看護学を学びたい」「看護師資格を取得したい」方は、お気軽にご相談ください。</p>
<p>OPT・CPTについて</p>	<p>いずれも学生ビザ F-1 保持者の就労オプションです。コース完了後の就労については条件を満たすことで OPT (Optional Practical Training) の申請が可能。</p> <p>また CPT (Curricular Practical Training) は、F-1 で就学している学生が専攻しているプログラムの一環としてインターンシップが認められるもので、通常2年目から可能。カリキュラムの一環のため、このインターンシップで単位が取得できるプログラムもあります。CPT は在籍校の許可が必要です。</p>

NCLEX-RN 受験手続き	CGFNS 受験 (または審査申込み)、NCLEX-RN 受験前の資格審査手続きについてのサポートを提供しています。お気軽にご相談ください。
NCLEX-RN 対策	オンラインの対策など、情報をお知らせしています。日本の看護師資格をお持ちの方で、大学のコースは取らずに直接資格取得を目指す方は、英語研修や NCLEX-RN 対策が含まれたコースのご案内も可能です。

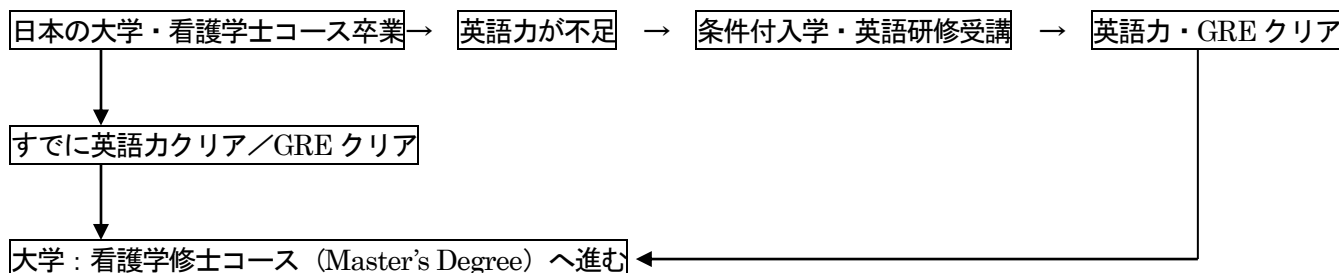
看護正規留学・学位取得までの主な流れ／サンプル

① 高校卒業以上の方で、アメリカで一から看護学を学び、学位を取得したい方

最近ではカレッジの看護学部は定員状態で入学までに長い時間を要することが多いです。入学はセレクションがあるなど困難さはありますが、4年制大学の看護コースをおすすめしています。「アメリカ大学奨学金留学」プログラムで、看護専攻でもオファーがくる可能性があります。詳細はお問合せください。



② 日本の大学において看護学士号を取得している方で、看護学修士号を取得したい方



無料カウンセリング	<p>アメリカの看護留学をご希望の方は、まず無料カウンセリング (来社または電話/スカイプ) をご予約ください。その際、日本の看護師資格保持の状況、看護教育歴について簡単な経歴をお知らせください。下記やプラン案をご案内いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 留学先の選定 (無料カレッジサーチ・留学費用見積り) 希望のエリアと条件にて留学先を選定、絞り込みます。</li> <li>2) 渡航前準備・手続きについて</li> <li>3) 入学から卒業まで</li> <li>4) 看護師資格取得のための試験とその対策についての情報</li> </ol>
-----------	--

プログラム費用／手続代行料	<p>英語研修から開始する方：提携語学学校の手続料 無料！/大学進学時の手続サポート 無料！ 直接大学・カレッジに出願する方：出願手続きサポート ¥140,000</p> <p>【含まれるもの/大学出願の場合】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①出願についてのアドバイス、書類確認</li> <li>②エッセイなどの英文書類校正、アドバイス</li> <li>③入学手続き</li> <li>④滞在先手配または案内</li> <li>⑤航空券の手配</li> <li>⑥海外留学生保険の加入手続き案内</li> <li>⑦留学前研修 (3回) および出発前オリエンテーション実施</li> <li>⑧学生ビザ申請サポート (F-1)</li> <li>⑨出発後のメールカウンセリング</li> <li>⑩NCLEX-RN 受験資格取得に係るアドバイス (書類作成の代行には、別途費用が必要)</li> </ol> <p>【含まれないもの】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①出願料</li> <li>②条件付入学出願料</li> <li>③入学金</li> <li>④英語研修費用</li> <li>⑤大学、短大コース授業料</li> <li>⑥教材費</li> <li>⑦空港送迎費用 (学校により)</li> <li>⑧NCLEX-RN 受験資格取得にかかる費用</li> <li>⑨NCLEX-RN 受験料</li> <li>⑩TOEFL や GRE 受験にかかる費用</li> <li>⑪パスポート申請費用 (お持ちでない場合)</li> <li>⑫ビザ申請料&amp;SEVIS 管理費</li> <li>⑬渡航費用</li> <li>⑭海外留学生保険料</li> <li>⑮現地滞在費</li> <li>⑯必要書類の翻訳料 (成績証明書、推薦状、シラバス等)</li> </ol>
---------------	--

◆お問合せ・お申込みについて

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目 大五ビル2F

TEL: 011-232-0292 FAX: 011-232-0291

Email: [info@ibunka-koryu.net](mailto:info@ibunka-koryu.net)

URL: <https://www.ibunka-koryu.net>



異文化交流推進ネットワーク  
Intercultural Exchange Network